

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報
の秘密の保護に力を
を期します。

農業経営統計調査

○年産 麦類生産費統計調査票 〔小麦・二条大麦・六条大麦・はだか麦〕 (個別経営体用)

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

- 年産の小麦・二条大麦・六条大麦・はだか麦のいずれかの生産費について記入してください。
- 調査項目欄には、右づめで記入してください。
- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦（※１）の生産コスト」を把握する調査です。

調査票には、○年産の小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦のうち、対象品目の麦の生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１ 小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦とは
食用だけでなく、種子用の麦も該当します。（青刈目的で栽培している麦は含みません。）
また、二条大麦についてはビール麦も含みます。

※２ この調査での対象品目の麦の生産とは
自家生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（対象品目が小麦の場合の負担割合について）】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から小麦負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。

小麦と水稻を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）

「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、小麦「2ha」、水稻「8ha」の作付地に施肥した場合

例１ 小麦に施肥した数量、金額を記入する方法

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	対象品目負担割合 (%)
肥料(購入)計	200	20000	100

対象品目負担割合には100%と記入

例２ 小麦、水稻に施肥した数量、金額の合計を記入する方法

小麦と水稻の作付面積割合「2：8」を目安に小麦負担割合を「20%」と記入してください。

区 分	数 量 (kg)	金 額 (円)	対象品目負担割合 (%)
肥料(購入)計	1000	10000	20

対象品目負担割合には20%と記入

【対象品目が小麦の場合の負担割合設定方法】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合の小麦負担割合を設定する方法について説明します。

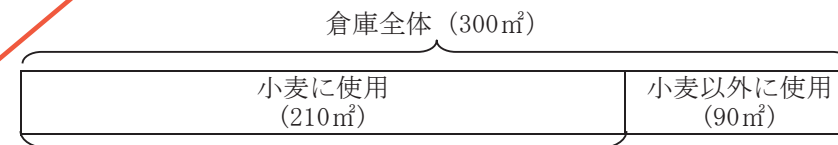
（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、小麦生産のために使用した面積の割合を「小麦負担割合」とします。

$$\text{小麦負担割合} = \frac{\text{小麦に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例： 倉庫全体の面積が300㎡で、うち小麦生産のために210㎡、小麦以外の作物に90㎡を使用した場合の「小麦負担割合」は70%（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



小麦負担割合：70%

（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、小麦生産のために使用した時間の割合を「小麦負担割合」とします。

$$\text{小麦負担割合} = \frac{\text{小麦に使用したトラクターの使用時間}}{\text{トラクターの全使用時間}} \times 100$$

例： トラクター全体の使用時間が200時間で、うち小麦生産のために80時間、小麦以外の作物に120時間使用した場合の「小麦負担割合」は40%（80時間÷200時間×100）になります。

調 査 事 項

ページ

- 【1】 経営の概況 3
経営している耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数、麦生産における作業委託の状況、作付品種、農業共済金及び助成金等について記入してください。
- 【2】 生産物の販売等の状況 5
麦の品質・用途別、麦わら及びくず麦の販売状況について記入してください。
- 【3】 対象品目の麦生産のために使用した資材等 6
種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、カントリーエレベーター費等の賃借料・料金等について記入してください。
- 【4】 物件税及び公課諸負担 9
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。
- 【5】 土地改良及び水利費 9
土地改良区費、水利に係る費用の負担金額について記入してください。
- 【6】 借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 9
借入金残高、支払利子について記入してください。
- 【7】 建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 10
生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
- 【8】 自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 11
生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
- 【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 12
生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
- 【10】 農具の購入費・生産管理関係の費用等 13
生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。
- 【11】 土地の面積及び地代 14
所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。
- 【12】 作業別労働時間 15
家族、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。

【1】経営の概況

1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地（a）	借入地（a）
田		
普 通 畑		
樹 園 地		
牧 草 地		

2 世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区 分	用 語 の 説 明	男（人）	女（人）
世 帯 員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家 族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単位となる集団（15歳未満は除く。）		
農 業 就 業 者	年間の農業労働日数が60日以上の方		
150 日 以 上	年間の農業労働日数が150日以上の方		
農 業 年 雇	農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて雇った者		

注：農業労働日数は、1日＝8時間を目安としてください。

3 認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

い	あ	い	ない
---	---	---	----

4 直近5か年の10a当たり収量

直近5か年における対象品目の麦の10a当たり収量を記入してください。

区 分	1 年 前	2 年 前	3 年 前	4 年 前	5 年 前
10 a 当 たり 収 量（kg）					

本調査の対象品目は、調査をお願いした、小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦のいずれかです。
対象品目以外の麦を含めないでください。
また、食用だけでなく、種子用の麦も含まれます。（青刈り目的で栽培している麦は含みません。）

【2】生産物の販売等の状況

1 対象品目の麦（二条大麦のうちビール麦を除く。）の品質・用途別の販売状況等（玄麦換算）

当年産の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

なお、1等、2等、規格外A及びBについて、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区 分		内 容 例 示	数 量 (kg)	金 額 (円)
販売用 (予定を含む (ビール麦を除く。))	1 等 (計)			
		農産物検査において「1等」と判定されたもの		
	2 等 (計)			
		農産物検査において「2等」と判定されたもの		
	規 格 外 A (計)			
		農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Aランクのもの		
(ビール麦を除く。)	規 格 外 B (計)			
		農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランクのもの		
	規 格 外 C	農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Cランクのもの		
	そ の 他	種子用のほか、1・2等や規格外と同等の品質を有するもの		
	食 用	食用に仕向けた（予定を含む。）1・2等、規格外Aのもの		
	種 子 用	種子用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	規 格 外 B	自家用に仕向けた（予定を含む。）規格外のうちBランクのもの		
	規 格 外 C	自家用に仕向けた（予定を含む。）規格外のうちCランクのもの		
	そ の 他	食用、種子用、規格外B・C以外に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

※ 対象品目が二条大麦の場合、「2 ビール麦の販売内訳」についても記入してください。

2 ビール麦の販売内訳（玄麦換算）

ビール麦の販売がある場合、その販売状況等について黄色の欄に記入してください。

なお、1等、2等及び等外上について、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

また、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区 分		内 容 例 示	数 量 (kg)	金 額 (円)
販売用 (予定を含む。)	1 等 (計)			
		農産物検査において「1等」と判定されたもの		
	2 等 (計)			
		農産物検査において「2等」と判定されたもの		
	等 外 上 (計)			
		農産物検査において「等外上」と判定されたもの		
自家用	食 用	食用に仕向けた（予定を含む。）		
	種 子 用	種子用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	そ の 他	食用、種子用以外に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

麦わら、くず麦の販売状況等については、6ページへ記入してください。

【2】生産物の販売等の状況（続き）

3 麦わら、くず麦の販売状況等

当年産の対象品目の麦生産で発生した麦わら及びくず麦の状況について記入してください。
なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等出荷経費を除いた金額を記入してください。

(1) 麦わら

「数量の割合」欄には、全体の数量を100%とした場合のそれぞれの数量の割合を記入してください。

区 分	内 容 例 示	数量の割合 (%)	金 額 (円)
販 売 用	麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等		
自 家 用	販売していない麦わら全般		
うち無評価分	刈取機の切断わらや野積み等のわら		
計		100	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

麦わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」の用途別に割合を記入してください。（用途別の合計が100となります。）

(2) くず麦

用途別に数量の割合を記入してください。

区 分	数量の割合 (%)	販売用	自家用	その他 (廃棄等)
く ず 麦	100			

くず麦の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家用」、「その他（廃棄等）」の各割合を記入してください。
（販売用、自家用、その他（廃棄等）の合計が100となります。）

区 分	販 売 金 額 (円)
く ず 麦	

注：自家用については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等

1 種苗費

当年産の対象品目の麦生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 種子（購入）

品 種 名	数 量	単 位	金 額 (円)
計		—	

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

(2) 種子（自給）

品 種 名	数 量	単 位

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

2 肥料費

当年産の対象品目の麦生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1) 購入													
資 材 名 等		数 量	単 位	金 額（円）		対象品目負担割合（%）		備 考 欄					
計			—										
窒素質													
りん酸質													
カリ質													
けい酸質													
（炭酸カルシウム 石灰含む）													
複合肥料													
土壌改良資材													
たい肥・きゅう肥													
その他			—										

2 肥料費（続き）

(2) 自給（自家生産した肥料）

資 材 名 等	数 量 (kg)	対象品目負担割合 (%)
た い 肥		
き ゅ う 肥		
稲 ・ 麦 わ ら		
そ の 他		

注1：稲・麦わらは、前作の収穫後にはほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
2：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 農業薬剤費

当年産の対象品目の麦生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資 材 名 等		金 額（円）		対象品目負担割合 (%)	備 考 欄
計					
殺虫剤					
殺菌剤					
殺菌・殺虫剤					
除草剤					
その他					

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「6 賃借料及び料金」に記入してください。
2：除草剤等農薬入りの肥料は「2 肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」。）」に記入してください。

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

4 光熱動力費

当年産の対象品目の麦生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資 材 名 等		数 量	単 位	金 額（円）	対象品目 負担割合 （%）
購 入（計）			—		
動 力 燃 料	重 油		L		
	軽 油		L		
	灯 油		L		
	ガ ソ リ ン		L		
	潤 滑 油		L		
	混 合 油		L		
電 力 料			—		
そ の 他 (水道料、木炭などの燃料)			—		
自 給					

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5 諸材料費

当年産の対象品目の麦生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資 材 名 等		数 量	単 位	金 額（円）	対象品目 負担割合 （%）
購 入（計）			—		
自 給					

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

6 賃借料及び料金

当年産の対象品目の麦生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料 金 名 等		数 量 等	単 位	金 額（円）	対象品目 負担割合 （%）
計			—		
負 担 共 同 金	薬 剤 散 布		—		
	共 同 施 設		—		
農 機 具 借 料			—		
航 空 防 除 賃			a		
手 耕 料			a		
は 種 ・ 定 植 料			a		
収 穫 請 負 せ 賃			a		
乾 燥 調 製 料			kg		
そ の 他			—		

注1：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農業代も含めて記入してください。
2：乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

【4】物件税及び公課諸負担

1 物件税

1年間に負担した対象品目の麦生産に關係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	対象品目負担割合 (%)
計		
固定資産税 (建物)		
固定資産税 (農機具)		
不動産取得税 (土地以外)		
水利地益税		
都市計画税 (土地以外)		
共同施設税		

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものは除いて記入してください。

- ・対象品目の麦のみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・対象品目の麦以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税 (建物)、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税 (農機具)、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

2 公課諸負担

1年間に負担した対象品目の麦生産に關係する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	対象品目負担割合 (%)
計		
集落協議会費 (地域集落等の会費)		
農業協同組合費		
農事実行組合費 (麦作部会等の各種部会費)		
農業共済組合賦課金		

- ・対象品目の麦のみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・対象品目の麦以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち、対象品目の麦の収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【5】土地改良及び水利費

当年産の対象品目の麦生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

1 土地改良区費

事業種類	対象品目作付ほ場負担金額 (円)		対象品目負担割合 (%)
	維持負担金	償還金	
ほ場整備事業			
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他 (灌地、養土扱いのほ場等)			

2 水利費等

費用名	対象品目作付ほ場負担金額 (円)	対象品目負担割合 (%)
水利に係る費用計		

- ・対象品目の麦のみの負担分を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・対象品目の麦以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、対象品目の麦の収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

【6】借入金 (買掛未払金を含む。) 及び支払利子

当年産の対象品目の麦生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

- ・対象品目の麦のみの生産に關係する金額を記入する場合は、100 (%) としてください。
- ・対象品目の麦以外の金額を含めて記入する場合には、その用途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名 (用途)	調査開始時未償還残高 (円)	支払利子額 (円)	対象品目負担割合 (%)
計			
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

対象品目の麦生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「対象品目負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
- ・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
- ・建物の電灯や電球の交換費用
- ・防風網や支柱の修繕費用 など

・対象品目の麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新築 中古	耐用年数（年）	取得年月		取得価額 （円） 購入金額から補助金を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金 （円） 建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費 （円） 当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 （円） 当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	対象品目負担割合 （%）	年内異動状況	
						年 （西暦）	月						異動コード	異動に伴う発生金額 （円） 売却金額、取り壊しの金額
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

種類コード			
建築物			
1	住宅	8	車庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構築物			
14	稲架	18	作業道
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客土	31	その他の構築物

構造コード			
建築物			
(1住宅)～(13その他の建築物)			
1	木造	6	木造モルタル
2	合成樹脂造	7	金属
3	鉄筋コンクリート	8	その他
4	コンクリートブロック	9	鉄骨格材の肉厚3mm以下
		10	鉄骨格材の肉厚3～4mm
		11	鉄骨格材の肉厚4mm以上
構築物			
(14稲架)～(31その他の構築物)			
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金属
		3	木造
		4	土管
		5	合成樹脂
		6	塩化ビニール
		7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

対象品目の麦生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「対象品目負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

・対象品目の麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・対象品目の麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名 称 等	種類コード	型式コード 新 古 新 中 古	耐用年数（年）	取得年月		取 得 価 額 （円） （購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。）	修 繕 費 （円） （当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。）	自動車保険料 （円） （当年の当該自動車等の保険料を記入してください。）	自動車・軽自動車税 （円） （当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		対象品目負担割合（%）	年 内 異 動 状 況	
					年 （西暦）	月					自動車重量税 （円）	自賠責保険 （円）		異動コード	売却金額 （円） （廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード	
(1 貨物自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車（ダンプ式）
3	普通自動車（ダンプ式以外）
(2 その他の自動車)	
1	軽自動車
2	普通自動車
3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

対象品目の麦生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「対象品目負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・農業機械の修繕、整備費用、部品代
- ・パソコン等の修理費用、部品代 など

- ・対象品目の麦のみに使用した場合は、100（％）としてください。
- ・対象品目の麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名 称 等	種類コード	型式コード	新区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) 購入金額から補助金を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金 (円) 農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費 (円) 当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料 (円) 当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税 (円) 当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。		対象品目負担割合 (%)	年内異動状況	
						年 (西暦)	月						自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)		異動コード	売却金額 (円) 廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード	
3	歩行用トラクター
4	乗用トラクター
8	たい肥等散布機
9	肥料散布機
10	総合は種機
16	中耕除草機
17	動力噴霧機
18	動力散粉機
33	ドローン
20	自脱型コンバイン
21	普通型コンバイン
29	脱穀機
31	乾燥機
54	トレーラー
56	その他の農機具
57	パソコン
58	その他の生産管理機器

型式コード	
(4 乗用トラクター)	
1	20馬力未満
2	20～50馬力未満
3	50～80馬力未満
4	80～100馬力未満
5	100馬力以上
(20 自脱型コンバイン)	
1	3条刈以下
2	4～5条刈
3	6条刈以上
(56 その他の農機具)	
1	その他・耐用年数3年
2	その他・耐用年数4年
3	その他・耐用年数5年
4	その他・耐用年数6年
5	その他・耐用年数7年
上記以外の農機具	
6	その他

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産の対象品目の麦生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・対象品目の麦のみに使用した場合は、100（％）としてください。
・対象品目の麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

名 称 等		金 額 （ 円 ）				対象品目 負担割合 （％）	内 容 例 示
（計）			万	千	百	十	
農 具 ・ 農 業 被 服 等 の 購 入 費							【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費
							【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

名 称 等		金 額 （ 円 ）				対象品目 負担割合 （％）	内 容 例 示
（計）			万	千	百	十	
生 産 管 理 関 係 の 費 用							【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
							【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費
							【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

【11】土地の面積及び地代

当年産の対象品目の麦の収穫が終わる前の1年間に、
・対象品目の麦のみ作付けた団地（ほ場）においては、100（％）としてください。
・対象品目の麦以外の作物も作付けた団地（ほ場）においては、対象品目の麦とそれ以外の作物との過去1年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】A団地（ほ場）に米と小麦を作付けており、過去1年間における作物別の収入が米400万円、小麦400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
 $\text{小麦}400\text{万円} \div (\text{米}400\text{万円} + \text{小麦}400\text{万円}) \times 100 = 50\text{（％）}$

1 所有地

(1) 作付地

当年産の対象品目の麦生産のために作付けた所有地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）		作付実面積（a）		対象品目負担割合（％）	地目	
		ha	a	ha	a		田	畑
1			.		.			
2			.		.			
3			.		.			
4			.		.			
5			.		.			
6			.		.			
7			.		.			
8			.		.			
9			.		.			
10			.		.			

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産の対象品目の麦の収穫が終わる前の1年間に、
・対象品目の麦のみに使用した場合は、100（％）としてください。
・対象品目の麦以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の対象品目の麦生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）		使用面積（a）		対象品目負担割合（％）
		ha	a	ha	a	
1			.		.	
2			.		.	
3			.		.	

2 借入地

(1) 作付地

当年産の対象品目の麦生産のために作付けた借入地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）		作付実面積（a）		支払地代（円）	対象品目負担割合（％）	地目	
		ha	a	ha	a	万 千 百 十		田	畑
1			.		.				
2			.		.				
3			.		.				
4			.		.				
5			.		.				
6			.		.				
7			.		.				
8			.		.				
9			.		.				
10			.		.				

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2) 建物敷地等

当年産の対象品目の麦生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）		使用面積（a）		支払賃借料（円）	対象品目負担割合（％）
		ha	a	ha	a	万 千 百 十	
1			.		.		
2			.		.		
3			.		.		

【12】作業別労働時間

当年産の対象品目の麦生産における作業時間について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1 家族労働時間

人別・作業別に労働時間を記入してください。

2 雇用労働時間

雇用者の男女別・作業別に労働時間を記入してください。

作 業 種 類	内 容 例 示	氏名	性 別	(歳) 年 齢	氏名	性 別	(歳) 年 齢	氏名	性 別	(歳) 年 齢	氏名	性 別	(歳) 年 齢	氏名	性 別	(歳) 年 齢	雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作 業 種 類	内 容 例 示
			(男) (女)	時間		(男) (女)	時間		(男) (女)	時間		(男) (女)	時間		(男) (女)	時間				
種 子 予 措	選種、浸種、種子消毒、催芽																		種 子 予 措	選種、浸種、種子消毒、催芽
耕 起 地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき小麦以外）																		耕 起 地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき小麦以外）
基 肥	基肥の配合、運搬、施肥																		基 肥	基肥の配合、運搬、施肥
は 種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土																		は 種	種子予措、選種、種子消毒、種まき、覆土
追 肥	追肥の配合、運搬、施肥																		追 肥	追肥の配合、運搬、施肥
中 耕 除 草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布																		中 耕 除 草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布
麦 踏 み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）																		麦 踏 み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）
管 理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき小麦）、心土破砕、麦などで、ほ場見回り																		管 理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき小麦）、心土破砕、麦などで、ほ場見回り
防 除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策																		防 除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策
刈 取 脱 穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理																		刈 取 脱 穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理
乾 燥	乾燥、調製																		乾 燥	乾燥、調製
生 産 管 理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）																		生 産 管 理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間 接 労 働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等																		間 接 労 働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

3 支払賃金

当年産の対象品目の麦生産のために雇用者に支払った賃金（現物支給も含む。）を記入してください。

区 分	支 払 賃 金 （ 円 ）	対象品目負担割合（％）
男		
女		

- ・ 対象品目の麦生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（％）としてください。
- ・ 対象品目の麦生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。